

平成 21 年度は予算[1兆 8,535 億円]となりました

福岡市議会は、2月17日より3月25日までの37日間、2月補正予算と21年度の予算審議をおこないました。

新年度予算の特長は、

- ① 地域経済対策として20年度を上回る十分な予算の確保
- ② 雇用創出事業として12事業の実施
- ③ 不登校・引きこもり対策の強化
- ④ 妊婦検診5回から14回まで公費負担の拡充と里帰り出産も実施
- ⑤ 地球温暖化対策として電気自動車7台の導入、風力発電2基、太陽光発電5基の設置などで市民の皆様のためになるよう全力でこの予算審議を行い実行してまいります。



平成 21 年度予算作成に対し市長へ予算要望しました

公明党福岡市議団は、吉田市長へ重点要望5項目・他13項目168の要望書を昨年12月に提出いたしました。

重点項目は、

- ① 緊急経済対策の対象企業の拡大と柔軟な運用
- ② 低所得者・障がい者への各種公共料金の減免制度の創設
- ③ 重度身障者など医療費無料化の維持
- ④ 民間の視点を入れた事業仕分けの本格実施
- ⑤ 妊婦検診の公費負担回数を5回から14回に拡充です。

また、テーマごとに13項目と各区に関する要望も併せて行いました。

今回の新年度予算に数多く反映されています。



平成 20 年 12 月 3 日庁議室にて

平成 20 年 12 月度議会報告

去る 12 月 15 日、山口議員は福岡市議会定例会において一般質問を行いました。

<質問テーマ>は

- ①. 高齢者の住み替え住宅と地域コミュニティバスの導入について
 - ②. 携帯電話などレアメタルのリサイクルシステムについて
 - ③. 小学校での英語教育について
 - ④. 通学路の歩道整備について
- の以上 4 点です。



【本会議場より撮影】



①の住宅では、県は住み替え安心バンクを設置している。市でも住宅相談コーナーを設置しているので市民に広く利用してもらえるようPRしていくと回答がありました。またコミュニティバスは重要と考えるので今後のあり方を検討する旨の回答がありました。これからもまた議会で議論をしてまいります。

②は、現在入れ歯の回収ボックスを市役所と区役所に設置し回収している。費用の一部をユニセフなどに寄託している。携帯電話は販売ショップで回収しているが、事業者支援のあり方を検討していく。③は、23 年度より全国の 5・6 年生で必修となるが、教員の予算を含め皆さまの不安を払拭していく。④は、学校から半径 1 km で約 317 km の内、未整備は 38% なので、23 年度までに 54 km を整備し、歩車分離確保率を 52% から 70% に引き上げるとの答弁がありました。

福岡市入札制度改革のお知らせ

福岡市では一般競争入札制度を大幅に拡大しています。これまでの指名競争入札を一般競争入札へ変更するものです。

平成 21 年 1 月から 4,000 万円以上に。平成 22 年 1 月からは 1,500 万円以上の公共工事について地場要件が可能な一般競争入札に拡大されます。また、総合評価方式を採用し、入札価格だけではなく、様々な角度も結果に反映されるようになりました。議会でも今後、透明性の確保に努めるよう要請し監視してまいります。

定額給付金支給のご案内です！

いよいよ皆さま待望の定額給付金が支給されます！

福岡市では 4 月中に役所から支給の手続き用紙が郵送されます。その用紙に記入し返信してから、おおよそ 5 月には皆さまが指定した銀行口座に振り込まれるようになりますのでお知らせします。

詳細は福岡市のホームページに Q & A がありますのでご覧ください！